

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2019年4月24日）

■第1版 第3刷（2017年5月15日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758122016_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1部 1章					
16	図1-4	銅線	銹線		17/05/31
第1部 3章					
29	14行目	以下、順に見ていこう。	まず、それぞれの分子の特徴と機能を大まかに見ていこう。		19/04/24
33	下から5～6行目	平衡に達する。結果として、細胞膜の内側が	平衡に達する。そのため、細胞膜の内側が		19/04/24
34	下から4行目	Na ⁺ 量も細胞量の10万分の1くらいで	Na ⁺ 量も細胞内量の10万分の1くらいで		19/04/24
第2部 2章					
49	下から1行目	外部環境を敏感に反応し、	外部環境に敏感に反応し、		19/04/24
第2部 3章					
71	コラム6, 右段, 11行目	近赤外光 (570 nm)	近赤外光 (750 nm)		19/04/24
73	コラム7, 図			※1参照	19/04/24

図表

※1 以下の図への差し替えをお願いします[「内(側)直筋」「外(側)直筋」への修正, 「左眼球」の追加]

